

# 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

本年度は多くの会員や支援者の協力のもと、日本100名山のひとつであり本県の山岳環境を代表する「両神山」の山頂を含む約1,231.9haの森林を取得し、ナショナル・トラスト事業を大きく前進させました。

また、当協会の目的である“自然と伝統が共存する持続可能な社会の発展”に向け、各種事業を積極的に展開しました。

## 1. 普及広報環境教育事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』を目的に、以下の普及広報・環境教育事業を展開しました。

### 1-1 普及広報事業

#### ① 政策提言事業

埼玉県、さいたま市、越谷市、北本市及び加須市等の環境審議会をはじめ、埼玉県希少野生動植物種検討委員会、シラコバト保護対策検討会議、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会、くぬぎ山地区自然再生協議会並びに朝霞市生物多様性市民懇談会等への委員の派遣のほか、県議会等への政策提言活動を行いました。

#### ② 自然観察会・環境管理事業

特定非営利活動法人日本NPOセンターと共催で開催する、子どもとその家族を対象とした自然体験事業「Green Gift プロジェクト」をはじめ、「自然を歩く会」「植物の会」など各種観察会を県内各地の団体との連携等により、600回以上開催しました。また、サクラソウをはじめとした湿性草地や武蔵野の雑木林の環境管理活動・イベント等を行い、広く県民の参加を募るとともに、環境関連団体が実施する自然観察会や環境管理作業への講師派遣を行いました。

#### ③ 環境講座・環境イベント事業

県民対象の「最新環境カレッジ」をはじめとした、持続可能なまちづくりにつながる各種講座や研修会の開催、上尾市、桶川市商工会、行田市民大学、環境科学国際センター、彩の国いきがい大学等、自治体及び各種行政機関・団体への講師派遣を行いました。

#### ④ 会報及び書籍の編集発行事業

会報「ナチュラルアイ」を毎月発行しました。このほか、市民団体が発行する環境に関する発行物の編集支援を行いました。

#### ⑤ 市民活動支援事業

入間川流域の河川での環境保全活動を支援する「武州・入間川プロジェクト」を、武州ガス株式会社及び荒川上流河川事務所と連携し、13団体に対し助成を行いました。また、株式会社タムロンの支援を得て、見沼の自然を再生・保全する「芝川第一調節池環境管理パートナーズ」の事務局を担いました。

#### ⑥ 企業・団体活動支援事業

三ツ又沼ビオトープでの武蔵野銀行新入行員野外研修支援や、清水建設株式会社関東支店等の環境管理活動の支援を行いました。また、企業・団体のCSR活動の相談対応を行いました。

#### ⑦ ウェブサイト・各種媒体を通じたの広報事業

当協会ホームページの更新や、県庁記者クラブ等を通じての環境関連情報の積極的な発信を行いました。

- ⑧ 写真・パネル等の貸し出し事業  
行政や市民団体等への動植物の写真の貸し出し及び使用写真の選定の支援を行いました。また、会員等からの写真を広く募集し、コンテンツの充実に努めました。

## 1-2 環境教育事業

- ① コンクール事業  
身近な自然の大切さに子どもたちが気付くこと、また、子どもたちの作品を通じて広く市民に認知されることを目的に、第31回「私たちの自然を守ろうコンクール」を朝日新聞さいたま総局と開催し、2,214点の応募の中から179点の受賞作品を決定し、表彰式を行いました。なお、昨年新たに創設した学校賞には、私立浦和実業学園中学校が選ばれました。
- ② 教員向け環境情報誌の発行事業  
将来世代を担う児童や生徒を指導する教員への普及啓発を目的に、教師用ナチュラルアイを県内の小・中・高・特別支援学校1,542校へ無償で配布しました。
- ③ 学校園庭ビオトープ事業  
公益財団法人三菱UFJ環境財団の学校園庭ビオトープ助成事業の県内での窓口として、2校の支援を行いました。また、学校園庭ビオトープの整備・管理手法についての相談対応を行いました。
- ④ 教育現場への講師派遣事業  
園児・児童・学生への環境学習の推進を目的とし、放送大学、越谷市立大袋東小学校、春日部市立宮川小学校及びしののめキッズパーク保育園等の教育機関への講師・指導者の派遣を行いました。

## 2. 調査研究事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』を目的に、以下の調査研究事業を展開しました。

### 2-1 自然生態系保全・再生に関する調査研究事業

- ① 自然と共存した土地利用を進めることを目的に、希少種や外来種等に関して武蔵野平地林地区や荒川・江川地区等において、野生動植物や生物多様性の動向等の把握と評価を行いました。
- ② 自然生態系の改変を伴う河川や道路整備事業等に関して、荒川流域や中川等において希少野生動植物等の保全対策を目的にした調査・研究を行い、長期的な環境対策として、エコロジカルネットワークの提案やミティゲーション対策等を提案しました。
- ③ コウノトリの野生復帰や荒川流域におけるサクラソウ自生地再生等、失われた希少野生動植物の生息・生育環境を新たに再生するための調査研究と、その成果の試行を進めました。

### 2-2 環境関連の法・条例等に関する調査研究事業

国や地方自治体の環境関連の法律や条例・制度等を調査し、自然生態系の保全・再生に寄与する法律や条例・制度・施策等の制定・改正に向けての研究と提言を行いました。

### 2-3 環境教育に関する調査研究事業

県内及び全国各地の教育現場の視察や教職員のヒアリングを通じて、総合学習や理科教育の場としての学校ビオトープの整備手法のあり方やそれを利用したカリキュラム等について検討しました。

### 3. 指定管理事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』に貢献することを目的に、以下の公的施設の指定管理事業を行いました。

#### 3-1 埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園

埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園は、北本市内にある埼玉県における自然学習の拠点施設であり、自然とふれあうことを目的とした 33ha の都市公園です。

##### ① 自然観察会等のイベント・講座の実施

「定例自然かんさつ会」「野あそび教室」「生きものいきいき隊」等のイベントを 608 回開催し、参加者は延べ 17,457 人でした。

##### ② 環境教育をすすめる人材育成

埼玉県内の小・中学校の教員を対象とした初任者等の研修を 11 回 283 名受け入れました。また、高校と特別支援学校の教員 5 年次研修を 31 名受け入れました。幼稚園教諭・保育士を対象とした研修を 9 回実施しました。

##### ③ 自然環境に関する展示、ホームページの更新等

「国際土壌年」に関する企画展やムサシトミヨの飼育展示、季節の生きものに関する展示等を計 37 回行いました。また、「名栗げんきプラザまつり」（飯能市）や「西部地域コミュニティまつり」（北本市）に出展しました。

開館日（320 日）にはホームページの更新を毎日行い、ニュースレターを年 4 回発行した結果、利用者は 89,289 人となりました。

##### ④ センター施設の保守・管理

施設の日常清掃、機械警備を毎日行い、エレベーター、自動ドア、浄化槽、展示設備等の定期的な保守・点検を行いました。

##### ⑤ 生物多様性の向上と来園者の安全を考えた園内の維持管理

開館日に毎日巡視を行ったほか、専門業者による草刈りや湿地耕耘などの管理作業を行いました。

また、177 人（平成 28 年 3 月末現在）の登録ボランティアによる管理作業を 22 回行うとともに、企業や地域団体等による管理作業を 8 回受け入れました。

##### ⑥ 講義室・研修工作室・会議室の貸出

自然を対象とした団体及び行政機関並びに市民団体等の利用申請が 68 件ありました。

#### 3-2 荒川大麻生公園

荒川大麻生公園は、熊谷市内の荒川河川敷に整備された 80.67ha におよぶ都市公園です。河原特有の希少植物が群生する砂礫・草地や多様な鳥類が生息する野鳥の森、レクリエーション利用のための多目的グラウンド等があります。

##### ① 生物多様性の向上と来園者の安全を考えた園内管理

園内の希少動植物の保全や外来植物の駆除、園内施設の点検・修理等の管理作業を 101 回実施しました。

##### ② 自然観察会や環境管理活動等の開催・実施

毎月開催している「わくわく野あそび隊」のイベントを始め、エコパークボランティアの方々や富士通ワイヤレスシステムズ株式会社等の企業の方々と共に、イベントや環境管理活動を計 28 回開催し、延べ 601 人が参加しました。

##### ③ 自然環境と調和した多目的グラウンドの環境管理と利用管理

自然環境と調和したグラウンドの樹木や植え込みの管理を行うと共に、快適な利用を図るために芝生の管理・養生を行いました。スポーツ大会やレクリエーションの場として、熊谷市や地元公民館、地元高等学校等からの利用申請は 25 件、届け出があった利用者数の累計は 44,002 人となり、自然豊かなグラウンド利用が進みました。

#### 4. ナショナルトラスト事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』に向けたナショナルトラスト事業を行いました。

##### 4-1 地域の自然環境を維持・向上するための土地の所有及びその実現のための募金活動

- ① 「水のトラストしよっ基金」にて、両神山の森の取得に係る募金活動に力を入れて取り組みました。
- ② 平成27年9月に両神山頂を含む12,318,917㎡を取得・登記し、新聞やホームページ、会報による発表を行いました。
- ③ 山林や草地等の寄付の受け入れ及び売買に関する相談対応を受けました。
- ④ 生活クラブ生協と連携した独自の募金活動  
生活クラブ生協埼玉の「市民事業寄付制度」に参加し、組合員を対象に、「水のトラストしよっ基金」への募金協力呼びかけを行いました。
- ⑤ 協会が所有するトラスト地の維持・管理  
秩父市、上尾市、川口市、狭山市、所沢市、伊奈町、鳩山町、小鹿野町内、千葉県松戸市内に所有する各トラスト地の巡視・維持・管理活動を、各支部等との連携のもと行いました。

##### 4-2 ナショナルトラスト活動を行う地域団体の活動支援

「グランドワークおおたかの森トラスト」の活動支援及び「エンハンスネイチャー荒川・江川」のトラスト活動の支援を行いました。